

第3回令和3年2月 コロナ感染症拡大防止の観点から、書面開催とした。

【参加者】

久 隆浩（近畿大学 教授）、渡辺 慶人（大阪市立木津中学校長）、
奥浦 光雅（本校同窓会長）、幡多 伸子（大阪市浪速区長）、堀 久美（本校PTA会長）
安田 幸一（学校長）、東 文義（教頭）、大塚 泰之（首席）

- 【1】 1月27日に書面開催に変更することを連絡
- 【2】 学校教育自己診断の報告と意見収集（2月中に意見集約予定）
- 【3】 令和3年度学校経営計画（評価案）数値判断についての承認
- 【4】 令和4年度学校経営計画（案）についての承認
- 【5】 令和4年度の委員の委嘱について
- 【6】 提言 ～学校教育自己診断結果を踏まえて今年度の学校運営に対する提言

（1）総合学科について

- *今年度、体系化に力を入れてくれましたので、引き続き取り組まれることで確実に成果につながっていくと期待しています。
- *図書館の利用が少ないのは、気になります。
- *同じ期の生徒が年を重ねることにより総合学科らしさの理解が高まり、それが入学期によって大きくばらつかない教育の提供が大事かと思います。
- *入学したら学校の良さはわかってきていると思います。もっと中学生に学校（総合学科）の強みを伝えられたらいいと思います。

（2）進路指導について

- *データからは、進路を考えるにあたって総合学科での学びや、働くことの意味や職業への理解の深まりが、年次ごとに高まっているように読み取れます。有名大学を出て企業に勤めても早期離職が増えており、また労働の流動性が高まる時代に、価値観や社会課題解決を志向できる人材を育てることが重要だと思いますので、このデータの成果をしっかりと共有していただくとよいと考えます。
- *自己診断の（19 学校は将来考えたり調べたりするきっかけや情報を提供している。）（20 学校には、進路指導室や進路相談室…環境が整っている。）等の回答もR3年は、かなり良くなっているので、学校も進路指導に対して力を入れていることがわかるし、生徒たちもそう感じていることがわかります。

（3）学習・授業について

- *授業力の向上とともに、自学自習は進路実現に必須のものと考えますので、家庭学習の定着に向けてより強力な取組みを期待しています。
- *教育産業との連携について、検討すべきと思います。
- *家庭学習をしたという設問と合わせて、社会とのつながりに関すること、たとえば、人権、環境、防災・・・といった事柄に関する本、集まり、記事などに関心を示すようになった、といった項目はいかがでしょうか？
- *教育診断（8 家庭学習を毎日した。）の回答が低いのが気になります。中学生もあまり高くはないですが、Aよくあてはまる。Bだいたいあてはまる。の肯定的な回答は50%（木津中学校 R3年12月実施）でした。

（4）生徒指導について

- *1年生では理解度が高いことから、継続して取り組まれるとよいと考えます。
- *今後も粘り強く、生徒の意見を聞きルールと自主性の両立をめざしてください。
- *生徒さんに対する相談しやすい環境についても改善されていますし、いじめへの対応もなされていると評価されていますが、引き続き改善を進めていただきたい。
- *生徒さんは、学校のルールに異論はあるものの、守っているとの意向が読み取れます。異論のある部分はしっかりと議論をしていただきたいです。
- *教育診断（31 学校における生徒指導や…指導には納得できる。）に肯定的な意見が低いように感じます。服装など自由な雰囲気イメージがあるのですが…

（5）人権・教育相談について

- *教育診断（37 命の大切さや…学ぶ機会があった。）の肯定的な回答がかなり増えているので、きっちりと取組みができていることがわかります。

(6) 国際交流

- * コロナ禍のなかで善戦されていると思います。
- * 浪速区内には大手の日本語学校もあり留学生との交流を望まれるのであればお役に立てると思います。

(7) 防災について

- * 浪速区の災害時避難所にも指定させていただいており、大規模災害時にはご協力いただきたいことが多く出てくるでしょうし、学校の防災教育においてお役に立てることがあると思います。
- * 単なる避難ではなく、減災・復旧・復興といった事柄も含めて、防災に対する行動や意識を学びと結び付けて推進していただきたい。

(8) ICT について

- * 機器の活用については教員も生徒もおおむね評価されていると思いますので、引き続き改善を。
- * e-スポーツの取組をはじめ、楽しみながら能力や人としての成長を促せる、何か面白いことが始められるとよいと思います。

(9) 保護者の回答から

- * 保護者アンケートについて「わからない」の回答項目を増やしてほしいとの意見があったとのことですが、こどもとしっかりと会話をし、学校運営に関心をもっていただくことが大切です。
- * PTA 協議会等を通じて、保護者に気づきを促していただきたいと思います。
- * 学校がSDGSや人権、国際協力という問題への意識をもつ人材を育てようとしている点について、保護者もわからないとの回答が多すぎます。学校の教育方針についても保護者がわかりやすくわかるように伝えてほしいです。進路のことや家庭学習も大事ですが、親と子が共に考える環境づくりを。

(10) 教員の回答から

- * 強い使命感により、熱心に取り組んでおられると思います。
- * 「学校が生徒、保護者の願いにこたえている」が、過去これほど低かったことに驚きました。当商店街も基本方針を「お客様とつくる賑わいのまち」としています。今や、共に創る時代ですね。それ以外の指標も年々肯定する意見が高まっていますので、ここ2年ほど教員の皆様への浸透がはかられているように思われ、このまま続けていただきたい。
- * 「総合学科を感じられるように努力している」は肯定意見が増加しているもののまだ低く、「めざす学校像の実現に協力している」という設問も同様ですがまだまだ低く、コンセプトの共有は非常に重要なのでしっかり議論していただきたい。
- * 人材育成や研修について評価が低くなっています。これは府教委も含めて深刻な問題として対応をいただきたいです。

(11) 全般に見て

- * 総合学科らしさの次なるステップ、社会課題に対して認識を深め行動に移していく人材の育成という観点では、まだまだ課題があるものと思います。
- * 教育診断の結果を見ると、生徒だけでなく、保護者、教員も意識が変わってきていると思います。